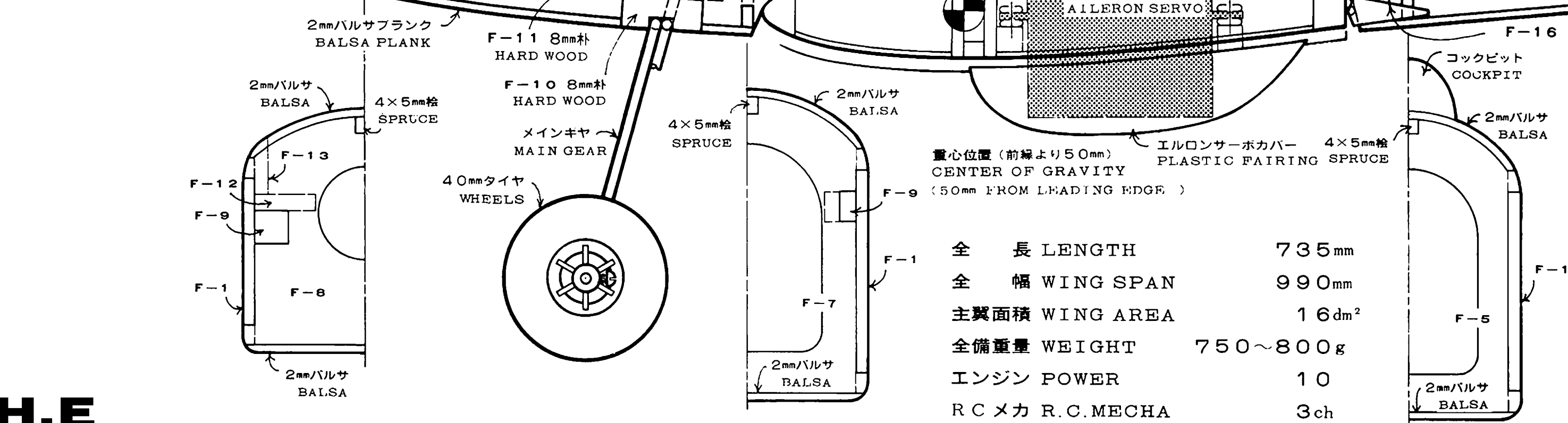
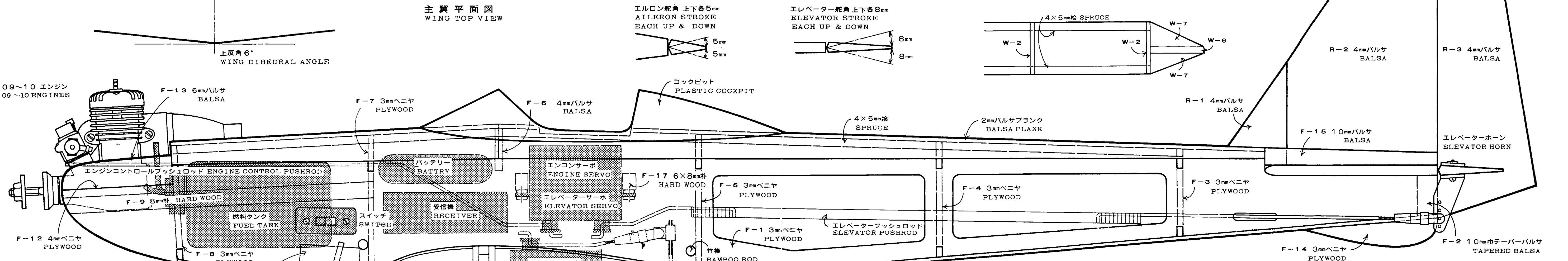
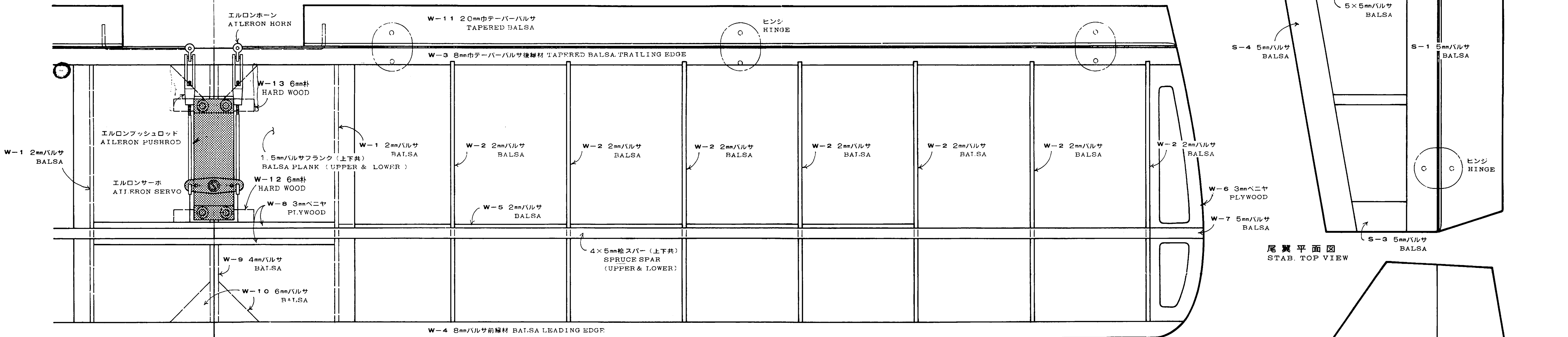
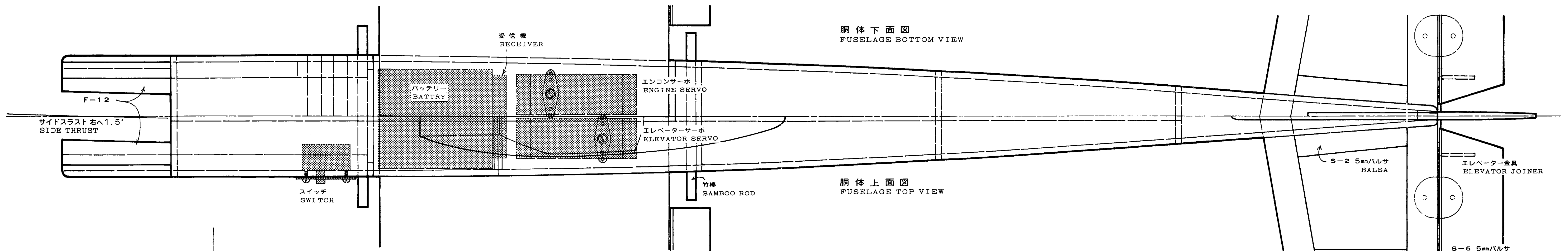
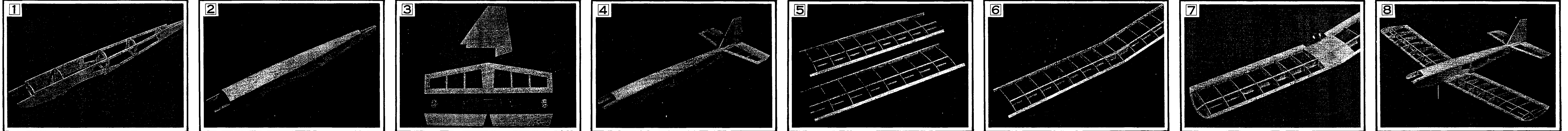
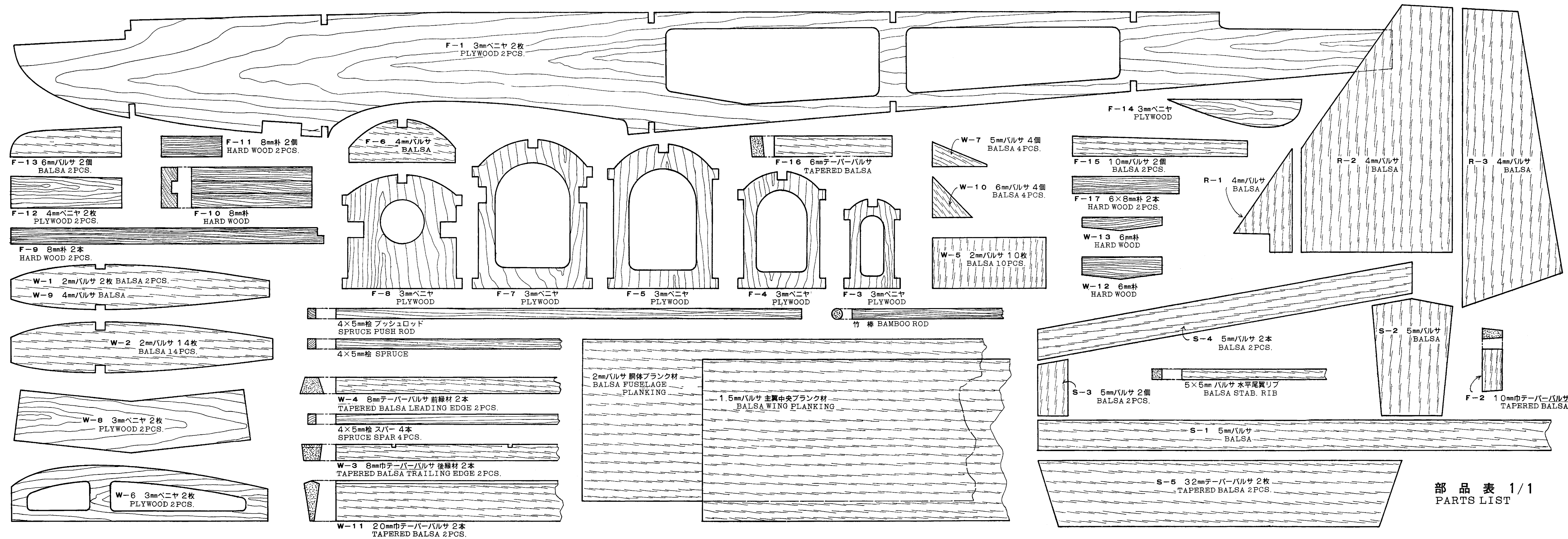




全 長 LENGTH	735mm
全 幅 WING SPAN	990mm
主翼面積 WING AREA	16dm ²
全備重量 WEIGHT	750~800g
エンジン POWER	10
RC メカ R.C. MECHA	3ch

Pilot 設計 松本 保男
DESIGNED BY Y. MATSUMOTO

Quick Built Series Q.B.10L
クイック・ビルト・シリーズ スポーツ モデル キット
OK MODEL CO.,LTD.



…… 製作の前に ……
このクイック・ビルト・シリーズは、組立てやすさと飛ばしやすさをモットーに設計されており、だれにでも飛ばしやすい機体が正確に、しかも早く組立てることができます。
まず、ダイカットされた各パーツをていねいに抜きとり、原寸で書かれている部品表と図面とをてらしあわせて、どこに使う部品が確かめ、部品番号を部品に書いておきます。袋に入っている部品も同じようにチェックしておきます。図面や部品表に書かれている部品番号の〔F〕とか〔W〕などの記号は機体の部分を表わしているもので、胴体は〔F〕、主翼は〔W〕、水平尾翼は〔S〕、垂直尾翼は〔R〕で示されています。部品をまちがえないよう注意して組立ててください。

…… 接着剤の使いわけ ……
ひと口に接着剤といっても、使用する場所や接着する品によって、数種類の接着剤を使いわけする必要があります。普通、バalsaなどの接着は、木工用ボンド（セメダイン・ホワイトなど）を使用します。エンジンマウント、メインギヤー取付け部、主翼中央の接合部などの振動や力のかかる部分の接着はエポキシ系接着剤（セメダイン・スーパー）などを使い、ガッチリ接着してください。又、主翼中央ブランクなど、接着面が表面に出る所の接着はセメダインOなどのセルロース系接着剤を使用するとよいでしょう。これは接着剤が表面にはみ出た時、ペーパーで簡単にすりおとすことができ美しく仕上げることができます。ヒビ割れなどの修理には、シアノアクリレート系の瞬間接着剤が大変便利です。

…… 胴体の組立 ……
写真一 胴体の組立ては〔F〕の頭文字ではじまる部品を使います。部品番号は組立て順序にあわせてつけてあります。まず、側板F-1の後端に10mmテーパバーサルF-2をクリップなどではさんで接着します。つづいて側板の上下のミゾに胴枠F-3～F-8までをはめ込んで接着します。胴枠と側板とがぴったりつくよう注意して組立ててください。接着剤が固ったら、胴枠の上についているミゾに4×5mm桧を接着します。次にエンジンマウントF-9とメインギヤー取付け台F-10、F-11をエポキシ系接着剤を十分に使用してガッチリ接着してください。

写真二 胴体の上下面を2mmバalsaでブランクします。まず、サンドペーパーを板にはりつけ、胴体の上下面を仕上げます。ブランクに使う2mmバalsaの本目は胴体上面は縦方向に、胴体下面は横方向に向くよう接着します。すきまや段のできないようにていねいに行ってください。

…… 尾翼の組立 ……
写真三 水平尾翼は〔S〕、垂直尾翼は〔R〕のつく部品を使って組立てます。水平尾翼は、後縁材S-1の中央にS-2、翼端にS-3を接着し、前縁材S-4を接着します。リブは5×5mmバalsaを図面にあわせて適当な長さで切って接着します。エレベーターは中央をエレベーター金具でつなぎ、ヒンジを使って左右がねじれないように注意して後縁に取付けます。前縁、翼端を丸く削り、サンドペーパーで仕上げてください。
垂直尾翼はR-1～R-3を接着し、水平尾翼と同じように、整形したあとでサンドペーパーで仕上げます。

写真四 エンジンマウントの上に4mmベニヤのマウントF-12をサイドスラスト（図面の上面図を参照）に注意して接着し、両サイドに機首ブロックF-13を接着します。胴体の角を断面図のように削り、サンドペーパーで仕上げます。
尾翼を胴体に接着しますが、取付け位置、角度に十分注意して行なってください。水平尾翼の取付けはまず、水平尾翼の中央に線を入れ、胴体のセンターにあわせず、前から見て主翼と平行（主翼取付け部にあらずな棒をおき、その棒と平行になればよい）になるように正確に接着します。垂直尾翼は水平尾翼に対して直角になるように接着し、両サイドにF-15を接着します。尾ソリF-14はエポキシ系接着剤で接着してください。

注意……フィルム張りで仕上げる場合は、水平尾翼や垂直尾翼を胴体に取付けてしまうとフィルムが張りにくいので、先にフィルムを張って仕上げたあと、胴体に取付けます。なお、接着部分はフィルムをはがしておきます。

…… 主翼の組立 ……
写真五 主翼の部品は〔W〕の頭文字ではじまる番号がつけられています。主翼はこれらの部品を使って、まず、骨組みを左右別々に作り、それを中央でカンザシを使ってつなぎあわせ、そのあとでブランクする……という順序で作ってゆきます。
4×5mm桧スパーと前縁材W-4を図面の上下に置き、リブの位置をボールペンなどで印を入れます。スパーをリブW-1、W-2のミゾに上下より組み込み接着します。つづいて後縁材W-3、前縁材W-4をリブの前後に接着します。主翼の組立ては平らな台の上でねじれないよう正確に組立ててください。

写真六 左右の翼を主翼接合用カンザシW-8で両翼を接合します。中央リブW-9は前後にわけて切りはなし中央に接着します。次に中央リブの左右、前、後縁材と角に三角形の補強材W-10を四角に接着して補強します。スパー補強材W-5は片翼5枚ずつ上下のスパーの間に接着し補強してください。

写真七 翼端リブの外側に翼端板W-6を接着し、スパーの位置の上下にW-7を接着して翼端板を補強します。中央の上下を1.5mmバalsaでブランクします。エルロンは、中央にエルロンホーンを取付け、ヒンジを使って取付けます。
前縁材を主翼断面図にあわせて丸く削り、全体をサンドペーパーで仕上げます。バalsa・ブランクの部分はあまり力を入れてみがかうとくなくなりますので、ていねいに仕上げてください。

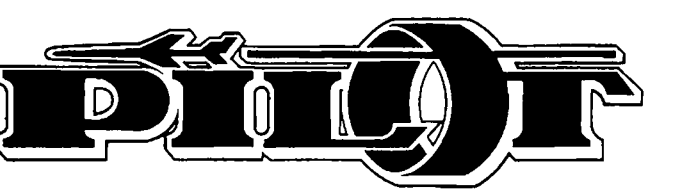
写真八 出来上がった主翼を胴体に仮組みし、尾翼などねじれていないか調べてみましょう。メインギヤーは、F-10、F-11に3mmの穴を開け、メインギヤーをさし込んで取付け、小判形のプラスチックパーツでおさえて木ネジで止めます。最後に細いサンドペーパーできれいに仕上げてください。
キャンビーとエルロンサーボカパーはビニール系接着剤で図面の位置に接着します。生地完成まで出来た機体は、紙、または絹を張り、色塗装をするのが一般的できれいに仕上げる事が出来ますが、きれいに仕上げようと何度も重ねて塗っていると、どうしても機体が重くなってしまいます。そこでプラスチック・フィルム（モノコーデやソラーフィルムなど）を張って仕上げますとだれにでもパッケージの写真のようにきれいに、しかも軽く、簡単に機体の仕上げができますのでフィルム張りで仕上げることをおすすめします。

…… FUSELAGE ASSEMBLY ……
Glue F-2 to the end of fuselage sides F-1 as shown. Insert fuselage bulkhead F-3 through F-8 into the appropriate notches in the fuselage side and glue in place. Glue engine mounts F-9 in place. Glue landing gear mount F-10 and F-11 in position. Glue 2mm balsa sheets to the top and bottom of the fuselage as shown. Glue nose blocks F-12 and F-13 to the front of bulkhead F-8. Glue tail skid F-14 and F-16 in place.

…… STAB. AND FIN ASSEMBLY ……
Glue S-1 and both S-3 to the S-1 as shown. Glue S-4 to the front of the assembly. Glue the 5×5mm balsa stab ribs between the leading and trailing edge members. Sand entire assembly and elevator S-5 smooth before covering with film. Round the edges of the stab and elevator.
Glue R-1, R-2 and R-3, and round and smooth the entire rudder and rudder with fin sand paper and cover with film as described in section.
Glue horizontal stab to the fuselage correctly and then glue vertical stab and root reinforcement F-15 into the place.

…… MAIN WING ASSEMBLY ……
Glue ribs W-1 and W-2 into the notches in the trailing edge W-3 and leading edge W-4 to the front of each ribs. Place the 4×5mm spruce spar into the notches in the ribs and then glue each spar webbing W-5 between each ribs. Glue W-6 into the outside rib and reinforce it with two W-7s. Join the wing halves together by gluing W-8 and then glue center rib W-9 (divide front and rear before gluing) to the center of wing. Reinforce W-9 with W-10. Cover the center section as shown in the drawing with 1.5mm balsa. Attach the aileron W-11 and aileron horn assembly. Sand the completed wing assembly prior to covering.

…… ADJUSTMENT of the CENTER of GRAVITY ……
The center of gravity range should be approximately 30% of the wing cord as measured from the leading edge. If the center of gravity does not fall within 45 to 55 mm from the leading, add weight or shift equipment as necessary to balance within this range. A center of gravity out of these limits could cause your model to be unstable and either difficult or impossible



組立説明書 CONSTRUCTION GUIDE

Quick Built Series Q.B.10L

クイック・ビルト・シリーズ スポーツ モデル キット

H.E OK MODEL CO.,LTD.